

# 令和3年度 宮崎県高文連自然科学プレゼンテーション大会 参加要領

(第46回 全国高総文祭東京大会 自然科学部門 宮崎県予選)

主催 宮崎県高等学校文化連盟 自然科学専門部

1. 日時 令和3年11月3日(水)

2. 会場 宮崎市中央公民館 3F大研修室

3. 日程

9:00~ 9:15	受付、接続確認
9:20~ 9:35	開会行事
9:40~10:50	研究発表(Ⅰ)
10:50~11:00	休憩
11:00~12:10	研究発表(Ⅱ)
12:10~13:00	昼食
13:00~14:10	研究発表(Ⅲ)
14:10~14:50	審査会(生徒はコメント記入等)
15:00~15:15	閉会行事

## 4. 参加対象生徒

第46回全国高等学校総合文化祭東京大会自然科学部門への出場を目指す各学校の自然科学系部活動・同好会に所属している生徒、及び個人で研究活動を行っている生徒

## 5. 参加規程

- (1) 物理・化学・生物・地学の分野を問わず1校につき4作品までを出展可能。
- (2) 感染症対策のため、大会参加は発表者のみとさせていただきます。
- (3) 発表者は研究1件につき2名までとさせていただきます。

## 6. 発表について

- (1) 発表時間は12分以内です。質疑応答は4分以内とします。  
(10分経過後にベルを1回、12分経過後にベルを2回、16分経過後にベルを3回鳴らします。)
- (2) 質疑は生徒と審査員からに限らせていただきます。
- (3) パソコンは再生のトラブルを防ぐため、各自持ち込みとします。(詳細は10.発表に関する留意事項)

## 7. 招待審査員紹介

物理部門	前田 幸重 先生	宮崎大学工学教育研究部
化学部門	湯井 敏文 先生	宮崎大学工学教育研究部
生物部門	佐伯 雄一 先生	宮崎大学農学部
地学部門	猪俣 拓郎 先生	宮崎県理科部会地学部長(延岡星雲高校)

## 8. 審査基準について

(1) 研究論文による事前審査では下記の点を評価する。(計10点)

- I. 研究論文のまとめ方は適切であるか。(論文構成、調査・実験方法、再現性、論理性など) (6点)
- II. 研究内容に創意工夫はあるか。(研究の着眼点、オリジナリティなど\*) (4点)

※継続研究の場合は、テーマそのもののオリジナリティを評価。

(2) 口頭発表による当日審査では下記の点を評価する。(計30点)

- I. 発表の手段や方法は適切であったか。(プレゼンソフトの使用法やスライド作成技術など) (12点)
- II. 調査・研究の結果に基づいた推論が出されているか。(事実と仮定の明確さ、考察の論理性など) (9点)
- III. 発表の態度はどうであったか。(発表時間は有効に使えたか、質疑応答は的確かなど) (9点)

## 9. 表彰ならびに全国大会推薦要項

(1) 表彰については、次の通りとします。

最優秀賞・・・物理、化学、生物、地学部門の最高得点を各1点選出。(計4点)

優秀賞・・・物理、化学、生物、地学部門の次点を各1点選出。(計4点)

(2) 全国大会への推薦については、次の通りとします。

全国代表	選考対象	選考数・選考規定
口頭発表部門 (計4作品)	本大会の各部門1位 (最優秀)作品	①研究論文が出ていない学校は選考しません(県高文祭でのポスター発表だけの学校も選考しません)。 ②1位が「該当なし」の場合、同じ部門の2位を繰上げ代表としません。 ③最優秀賞受賞校が辞退をする場合、優秀賞を繰り上げて代表とするかは審査委員会で協議します。 ④最優秀賞受賞校がポスター発表を選択する場合、優秀賞を繰り上げて代表とするかは審査委員会で協議します。 ⑤同一校が4分野のうち複数をおさめることは妨げません。
ポスター部門 (1作品)	本大会の各部門で1位および2位(優秀賞)の最高得点作品	本大会の各部門の最優秀校がポスター発表を選択した場合はその学校に決定します。

(イメージ図)

物理	化学	生物	地学
1位	1位	1位	1位
2位	2位	2位	2位
3位	3位	3位	3位

各部門の1位は、総合得点が高い順に全国ポスターか全国プレゼンを選べます。(希望は申し込み時に取ります)ポスターが決まれば、他の部門1位はプレゼンとなります。

- (1) 1位が全てプレゼン希望だった場合は、2位で最も点の高い発表がポスターに推薦されます。
- (2) 1位がポスターを選んだ部門は2位の発表がプレゼンに推薦されるかは、審査委員会で審議します。  
※著しく2位の点が低いときなど、審議によって該当無しとする場合もあります。

## 10.発表に関する留意事項

- (1) プロジェクターとスクリーンおよびアナログ RGB(D-sub15 ピン)のケーブルは準備しますが、パソコンは再生のトラブルを避けるため各自持ち込みとします。
- (2) パソコンはアナログRGBの出力端子があるもの、もしくはRGBとHDMIの変換コネクタを準備してください。
- (3) パソコンはLANから離して動作の確認を十分して持ち込んでください。校内LAN上にある動画等のファイルに誤ってリンクを作成していることがあります。
- (4) 最近の薄型ノートパソコンはD-subの端子がないことがありますので、必ずご確認ください。
- (5) 音声が必要な場合は、申し込み時にご相談ください。  
※会場の設備やパソコンの位置によっては、スピーカーに直接接続ができずマイクで拾うことになります。
- (6) 電源、レーザーポインター(緑)は準備いたします。
- (7) 操作は発表する生徒でお願いします。



## 11.申し込み方法

以下のA、Bの2点をご提出ください。

### A. 参加申込書

宮崎県高等学校文化連盟のホームページ内にある自然科学専門部のページ([https://cms.miyazaki-c.ed.jp/ssc021/htdocs/?page\\_id=75](https://cms.miyazaki-c.ed.jp/ssc021/htdocs/?page_id=75))から「令和3年宮崎自然科学プレゼン大会申込用紙」をダウンロードし、必要事項を記入し、下記までメールまたはFAXにてお申し込みください。

メール: 自然科学専門部代表アドレス [m\\_sizenkagaku@miyazaki-c.ed.jp](mailto:m_sizenkagaku@miyazaki-c.ed.jp)

FAX: 0987-72-3118(福島高校 宮原 一平 宛)

締め切り: 令和3年10月12日(火) 必着

### B. 事前審査用の研究論文

(1)と(2)いずれかの方法で申し込みをして下さい。

(1) 郵送の場合

事前審査用の研究論文7部(A4用紙。様式、ページ数は問いません)を各学校で取りまとめ、直接下記宛先へ郵送して下さい。

〒880-0124 宮崎県宮崎市大字新名爪 4567 番地 宮崎県立宮崎北高等学校 河野健太 宛

(2) メールの場合

事前審査用の研究論文のPDFデータ(白黒印刷になります)を自然科学専門部代表アドレスへ送って下さい。

宛先 自然科学専門部代表アドレス [m\\_sizenkagaku@miyazaki-c.ed.jp](mailto:m_sizenkagaku@miyazaki-c.ed.jp)

締め切り: 令和3年10月22日(金) 必着

## 12. 問い合わせ先

〒888-0001 宮崎県串間市大字西方 4015 番地 宮崎県立福島高等学校  
宮原 一平 (TEL:0987-72-0049 FAX:0987-72-3118)